

登録コード	L1931500	開講年度	2026				
担当教員	佐藤 真紀			副担当			
授業科目	西洋史特論						
英文授業名	Lecture of European and American History						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3 時限
講義室	人文第 2 講義室	遠隔授業科目		読替科目			
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			史実を知り、定説的見解を問い直すことができるようになる			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			通説的解釈を理解した上でその問題点も理解できるようになる			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	フランス近代社会を、ハイチの視点から考える。						
授業計画	第1週 オリエンテーション 第2週 レポートの書き方についての指導 第3週 海の向こうに 第4週 奴隷社会 第5週 解放の前提 第6週 7年戦争・啓蒙主義 第7週 本国での結社・論争 第8週 前兆 第9週 黒人奴隷蜂起 第10週 黒人奴隷制廃止決議 第11週 パリ市民・啓蒙思想家の反応 第12週 オランブ・ド・グージュ 第13週 独立 第14週 真の独立は？ 第15週 まとめ						
成績評価の方法	レポート80パーセント、授業態度20パーセントで評価する。						
成績評価の基準	参加をすることが前提である。 期末レポートが、テーマの問いに答える内容で、指定された様式（文章にすることや註をつけること）に従っていれば、『かなり上にある』と評価される。テーマの問いに答える努力がみられ、様式に従っていれば『やや上にある』と評価される。テーマの問いに答える努力がみられ、かつ、指定された様式に従う努力がみられるのであれば、『その水準にある』とみなされる。『かなり上にある』の条件を満たしたうえで、外国語文献を含めた広い情報源を利用して考察を行った内容であれば、『卓越している』とみなされる。						
事前事後学習の内容	事前にフランス史の概説書を読み進めておくこと。 事後に、近代フランス社会についての研究書・論文等を読むことが好ましい。						
履修上の注意	特になし。						
質問、相談への対応	maquis@shinshu-u.ac.jpにメールしてください。						
教科書	特になし						
参考書	浜忠雄『ハイチ革命とフランス革命』北海道大学出版会、1998年。						